歯学教育改革コンソーシアム
CODEE
Consortium of Dental Educational Evolution for Aged Society
News Letter
vol.4
2018.2

平成 30 年度　連携総括シンポジウム日程変更のお知らせ

文部科学省　課題解決型高度医療人材養成プログラム　「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革―死生学や地域包括ケアモデルを導入した医科歯科連携教育体制の構築―」では、大変お世話になっております。本ニュースレターの前号にて平成 30 年度の連携総括シンポジウムの日程を平成 31 年 1 月 26（土）、27 日（日）とお知らせ致しましたが、より多く関係者の皆様にご参加頂けるよう、再度日程調整を行い、平成 31 年 2 月 16（土）、17 日（日）に変更させていただくことになりました。連携大学のみならず、全国の医学部、歯学部にご案内を差し上げる予定ですので、多くの先生方にご参集頂きますようお願い致します。

日時	平成 31 年 2 月 16 日（土）、17 日（日）
会場	岡山大学　鹿田キャンパス J Hall （岡山市北区鹿田町 2-5-1）

平成 29 年度　連携シンポジウム in 札幌　開催報告

平成 29 年 11 月 10 日（金）、11 日（土）の 2 日間にわたり、「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革」平成 29 年度連携シンポジウム in 札幌を北海道大学歯学部講堂にて開催致しました。連携大学以外からの参加者も含め、約 70 名の参加者のもと盛会裡に終了致しました。

1 日目のシンポジウムでは、「これからの医科歯科連携教育」をテーマとし、黒澤修身文部科学省高等教育局医学教育課課長補佐及び笠原正典北海道大学理事・副学長（前北大医学部長）から講演が行われた後活発な質疑応答がなされました。また、同日夜には参加者懇親会が開催され、連携校の歯学部及び歯科大学との相互交流が夜遅くまであったようです。

翌日午前中のシンポジウムでは、「地域包括ケアと周術期口腔管理」をテーマとして、山崎　裕北海道大学大学院歯学研究院教授、秦　浩信北海道がんセンター歯科口腔外科医長、小谷　勝北海道歯科医師会常務理事、宮田靖志愛知医科大学教授から講演が行われ、熱い討論がなされました。午後は、「オーラルフレイルとは：老年学の視点から」と題した平野浩彦東京都健康長寿医療センター歯科口腔外科部長の特別講演が行われ、2 日間のシンポジウムはあっという間に閉会となりました。この場を借りまして、参加していただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

（北海道大学歯学部　連携シンポジウム担当　コンソーシアム委員　井上　哲）

平成 29 年度　実習受け入れ、相互交流状況　報告

❖ 岡山大学　高度医療支援・周術期口腔機能管理実習

岡山大学歯学部が開講している「高度医療支援・周術期口腔機能管理実習」は、大学病院で展開されているチーム医療の現場をそのまま体験できる内容です。ガイダンスに引き続き実施するチーム医療同行実習は、周術期管理センター、腫瘍センター（外来化学療法室）、Bio-Clean Room（造血細胞移植を主目的とする病室）、ICU、緩和ケアチームラウンドの計 5 箇所で行っています。最後には振り返りも含めた修了試験を行っています。

本年度は日本大学から 2 名（8 月 21 ～ 25 日）、長崎大学から 2 名（9 月 4 ～ 8 日）の学生を受け入れました。チーム医療の中で活躍できる歯科医療人養成は社会から強く求められている一方で、それに必要な技能や態度は座学だけで身につけることが困難です。やはり、実際の医療現場で多職種が役割を分担する中で、密に連携を図る様子を目の当たりにすることやがん闘病中の患者及び患者家族と接する経験をすることで身につけることが可能になると考えます。

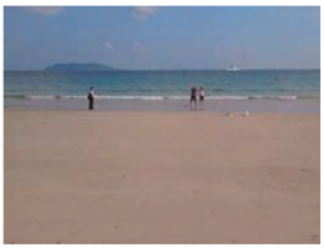
（岡山大学歯学部　歯学教育・国際交流推進センター
園井教裕）

❖ 長崎大学離島歯科保健医療サマースクール

「長崎大学離島歯科保健医療サマースクール」は、長崎市より海上 100㎞離れた五島市での体験型の歯科医療・保健・福祉実習プログラムです。1 週間の実習では、急性期病棟嚥下回診、特別養護老人ホーム、デイサービス、日常生活支援総合事業、地域包括支援センター高齢者居宅訪問と、多職種による高齢者支援の現場を体験します。要介護度の異なるさまざまな高齢者の方々と触れ合い、支援者のお話をうかがいます。歯科診療所見学では、本土から直接の船便がない二次離島診療所や訪問歯科診療に同行します。平成 29 年度は、昭和大学 1 名、岡山大学 2 名、長崎大学 3 名の 3 ～ 6 年生、岡山大学教員 2 名が参加しました。五島市の小児口腔保健事業も新たにプログラムに加え、人形劇やブラッシング指導で協力しました。

本スクールでは、口腔ケア・摂食嚥下ケアの知識や技術を、高齢者一人一人に寄り添う医療として活かせる歯科医療者の育成を目指しています。2018 年度長崎大学離島歯科保健医療サマースクールも 8 ～ 9 月頃に開催を予定しています。募集時期、日程等が確定次第 HP 等でご案内します。

（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科　医療科学専攻　社会医療科学講座　口腔保健学分野　小山善哉）



❖ 鹿児島大学夏季全国歯学生離島実習プログラム

鹿児島大学が企画、実施を担当している「夏季全国歯学生離島実習プログラム」は、昨年度に引き続き平成 29 年 8 月 22 ～ 25 日の期間、鹿児島県の種子島（えのもと歯科医院、榎本　孝先生）および与論島（児玉歯科医院、児玉伊佐雄先生）で実施し、複数の連携大学から各島 2 名ずつ、計 4 名の参加がありました。例年この時期は台風シーズンと重なりますが、今年度も一部の参加者が天候の影響を受け、実習期間の調整が必要となりました。ただ、それを含めて離島の生活環境を体験して頂けたものと思います。実習はいずれも 3 泊 4 日で構成され、外来見学を中心に介護施設や居宅への往診などを体験する機会がありました。参加者達からは、離島特有の医療事情をはじめ、離島で医療を行うための医療者としての心構えの大切さや、地域に根付くことの意味、人と人とのつながりなどの大切さを実感した、といった意見が聞かれ、大変多くのことを学んで頂けたようです。また現地の指導歯科医に依頼し、実習の合間には各島の独特の自然や食をはじめとする様々な文化に触れる機会も、たくさん設けて頂きました。このような貴重な体験や、現地の方々との触れ合いを通じて生涯忘れられない経験をしてくれたものと思います。今回の体験を、今後の歯科医師としての成長の糧にしてもらえることを願っています。

（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科　健康科学専攻　社会・行動医学講座　歯科医学教育実践学分野
鹿児島大学病院　歯科総合診療部　田口則宏）

文部科学省　課題解決型高度医療人材養成プログラム
健康長寿社会を担う歯科医学教育改革
－死生学や地域包括ケアモデルを導入した医科歯科連携教育体制の構築－

事業責任者／岡山大学　窪木拓男
お問い合わせ／岡山大学　杉本恭子　k-sugi@md.okayama-u.ac.jp
URL ／ https://mdp.dent.okayama-u.ac.jp/ocw/index.php
本ニュースレターは文部科学省　課題解決型高度医療人材養成プログラムの支援を得て発行しています。
発行：2018.2

▲ HP へアクセス